通商政策局　ロシア・中央アジア・コーカサス室
03-3501-2838

ロシア・中央アジア地域等貿易投資促進事業

令和３年度予算額　3.3億円（3.3億円）

事業の内容

事業目的・概要

ロシア・中央アジア地域等との経済協力関係を更に深化させることは、資源確保・エネルギー安全保障等の観点から重要であるだけでなく、新市場の開拓にも大いに寄与します。

（１）ロシア地域貿易投資促進事業

- 日露間における貿易投資の促進や、2016年5月の日露首脳会談で提示した８項目の「協力プラン」の具体化のため、日露貿易投資促進機構が実施する日露企業等へのビジネス関連情報の提供やフォーラム開催、ビジネスマッチング・コンサルティング事業、ネットワーク形成を支援します。

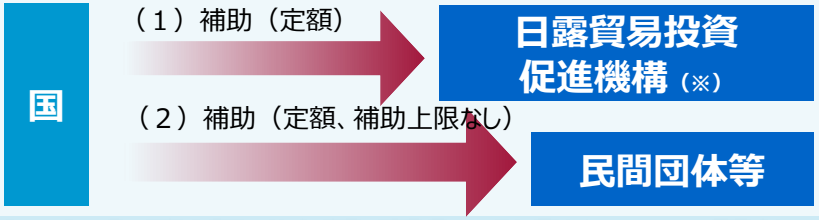
（２）中央アジア地域等貿易投資促進事業

- 中央アジア地域等の各国と投資環境の整備を目的としたネットワークを設立し、当該ネットワークを活用した情報収集、フォーラム開催、ビジネスマッチング等を実施します。

成果目標

- 平成17年度からの事業であり、日露両国間の信頼醸成促進及び貿易・投資関係の更なる発展により、我が国からロシア・中央アジア地域等への中小企業を始めとする日系企業進出数の増加を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



※平成１５年１月の首脳合意等に基づき設置（事務局：一般社団法人ロシアＮＩＳ貿易会）

事業イメージ

（１）ロシア地域貿易投資促進事業

（例）東方経済フォーラムにて日露ビジネス対話を開催

日　時：令和元年9月5日（於ウラジオストク）

参加者：世耕経済産業大臣（当時）、オレシュキン経済発展大臣（当時）のほか日露双方から約230名

概　要：「海と陸の大動脈がもたらす新たな極東開発」をテーマに、日露双方の政府及び産業界の代表が、今後の可能性を議論し、8項目の「協力プラン」の成果を確認した。

（２）中央アジア地域等貿易投資促進事業

（例）第15回日本ウズベキスタン経済合同会議を開催

日　時：令和元年7月10日（於東京）

参加者：磯崎副大臣（当時）、ガニエフ副首相（当時）ほか、日本・ウズベキスタン双方から約300名

概　要：年末の大統領訪日を念頭に、両国官民による化学・農業、鉱物資源分野等について発表・討議を行った。